



学校通信

令和4年度 臨時号
令和5年 2月 1日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

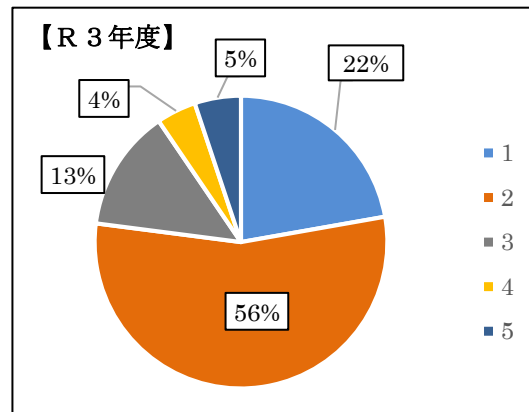
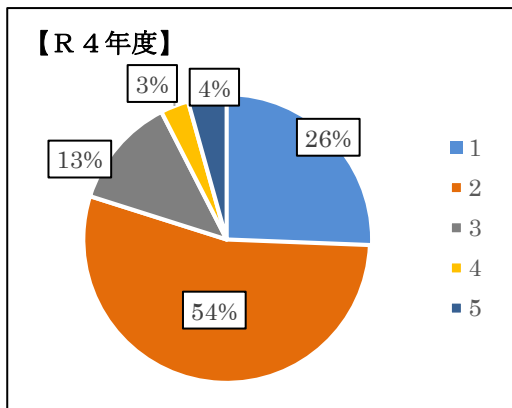
日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

先日、皆様にご回答いただいた教育活動に関する学校教育アンケート結果がまとまりましたので、ご報告します。アンケート結果を全教職員で分析し、来年度の教育活動をより充実していきます。

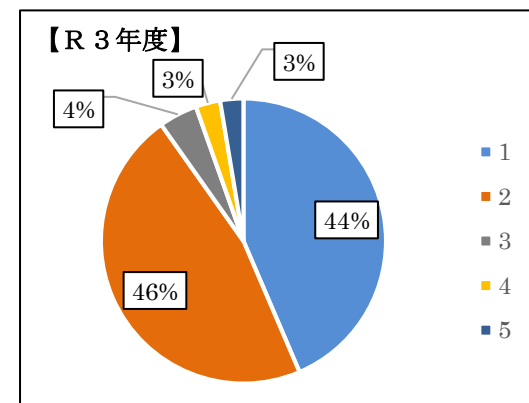
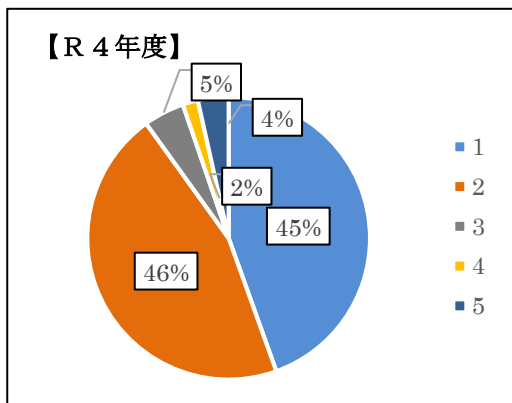
- | | |
|--------|---|
| 1 実施時期 | 令和4年11月15日～11月22日 |
| 2 調査対象 | 本校保護者 697名 |
| 3 回答方法 | 1 よい・あてはまる 2 だいたいよい・だいたいあてはまる
3 あまりよくない・あまりあてはまらない 4 よくない・あてはまらない
5 わからない の5肢から選択 |
| 4 回収率 | 約98% |

<学校教育アンケート>

1 子供は、自分のよさに気付いている。

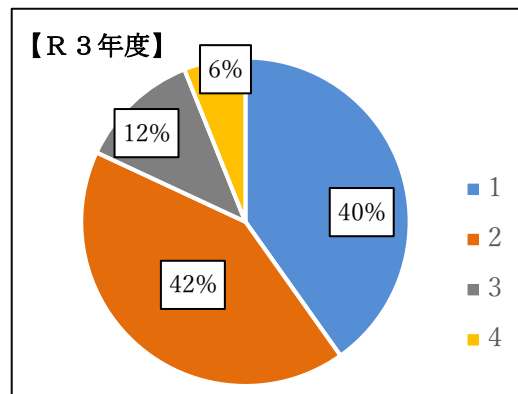
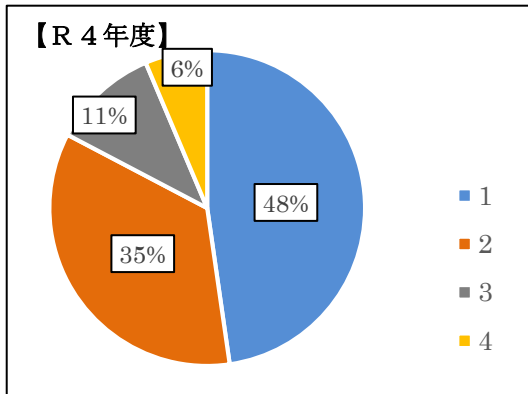


2 子供は、友達によさに気付いている。

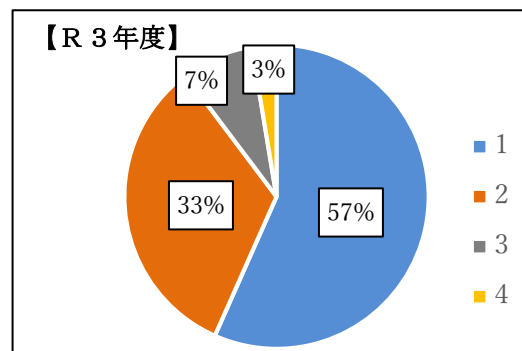
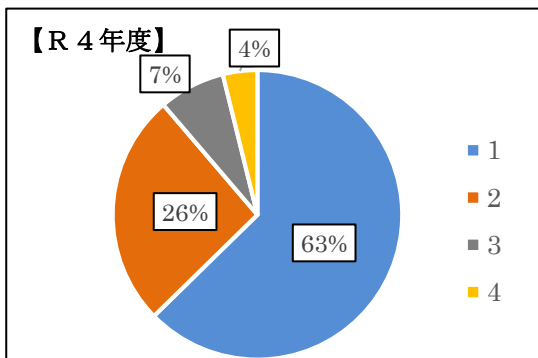


〈児童アンケート〉

☆ 自分のよいところをわかっている。



☆ 友達のよいところを見つけられている。

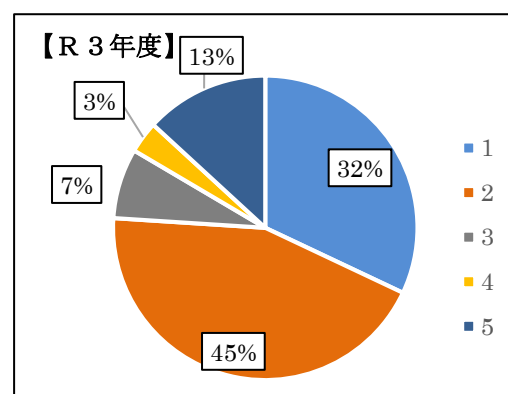
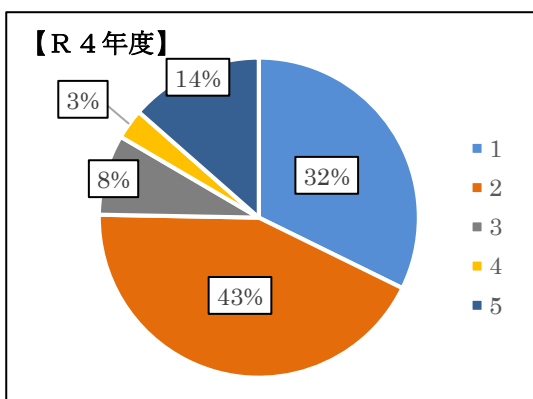


本校で取り組んでいる「よいところ見つけ名人」、「よいところ伸ばし名人」によって、子供一人ひとりが自分のよさに気づき、教師や友達が認め、誇りと自信をもてる指導を継続しています。その成果として、「あてはまる」と答えた子供は、昨年度よりも6%増えました。

日々の意識啓発と帰りの会を中心に、さらに児童代表委員会が進める「よいところ見つけ名人キャンペーン」を通して、「よいところ見つけ」につながる機会を確保し、子供一人ひとりが「自他のよさ」を実感できるようにします。毎朝、放送委員の子供が、校長室前の「ぽかぽかメッセージ」カードに書かれたよいところを選び、放送しています。

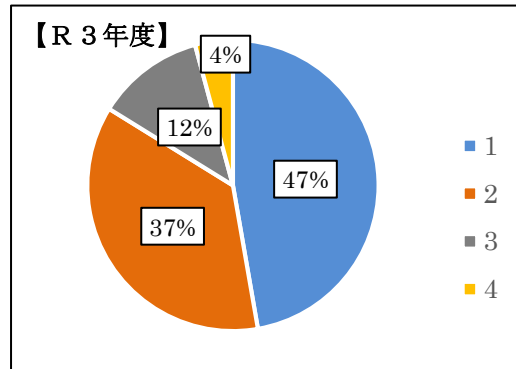
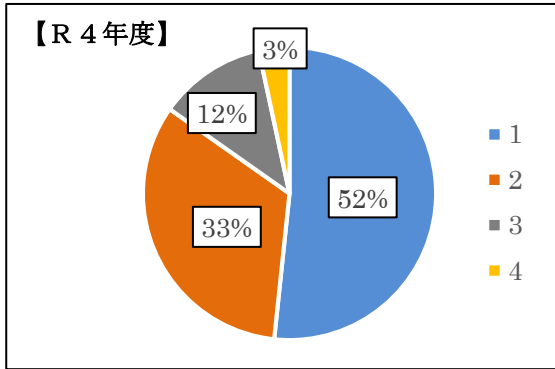
〈学校教育アンケート〉

3 教師は、子供に誇りと自信をもたせる指導を進めている。

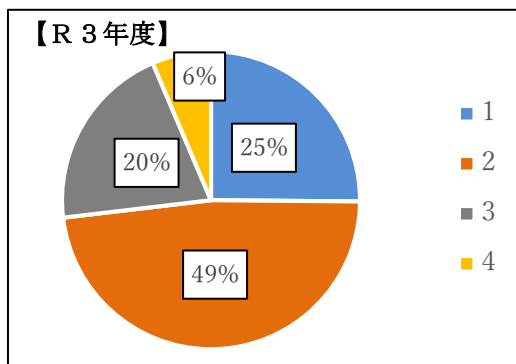
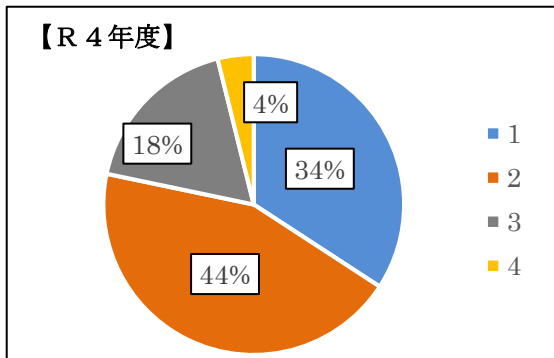


〈児童アンケート〉

☆ 担任の先生は自分のことをほめてくれる。



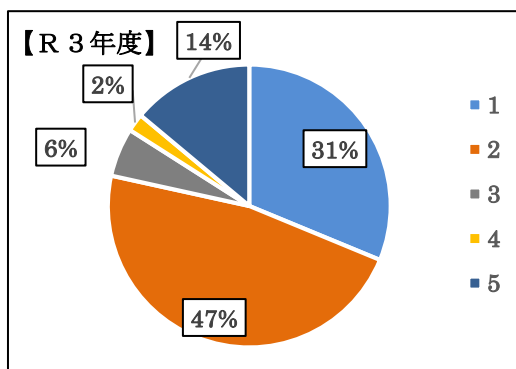
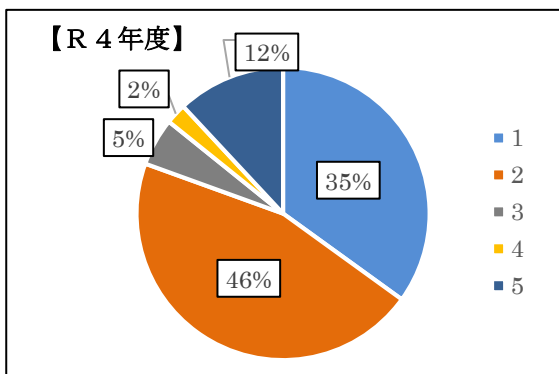
☆ (3～6年のみ)担任以外の先生は自分のよいところをみとめてくれている。



全教職員が子供一人ひとりのよさを学習面や生活面において具体的に褒めています。子供は褒められることにより、自分のよさや自分がしたことの価値に気付き、より力を発揮します。引き続き、子供一人ひとりのよさを週1回の生活指導に関する打ち合わせで共有しています。そして、みんなの子供をみんなで褒めることを進めていきます。

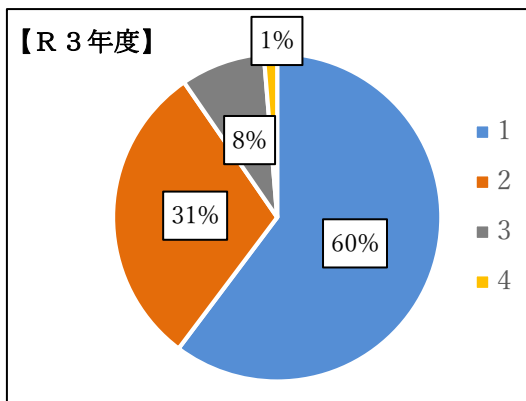
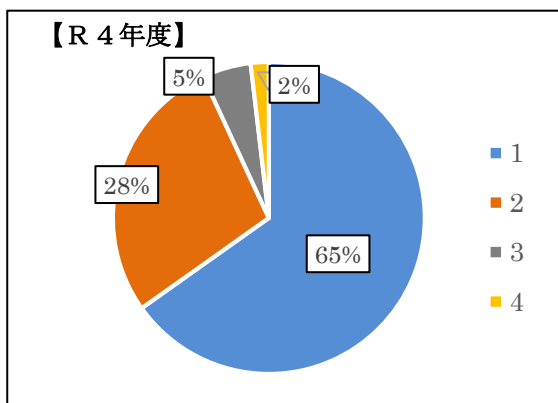
〈学校教育アンケート〉

4 教師は、「わかる」「できる」学習指導を進めている。



〈児童アンケート〉

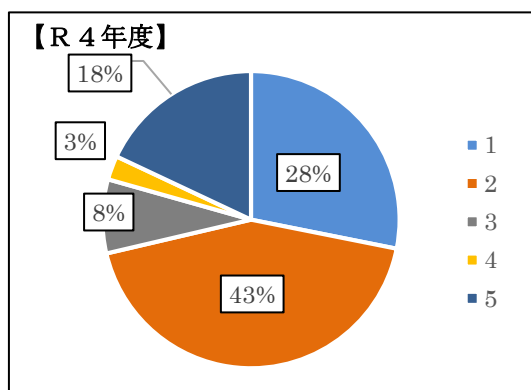
☆ 授業の内容がわかっている。



〈学校教育アンケート〉

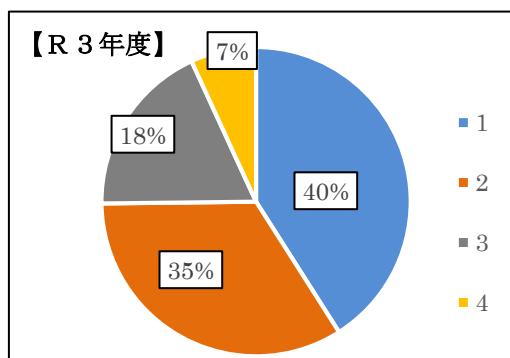
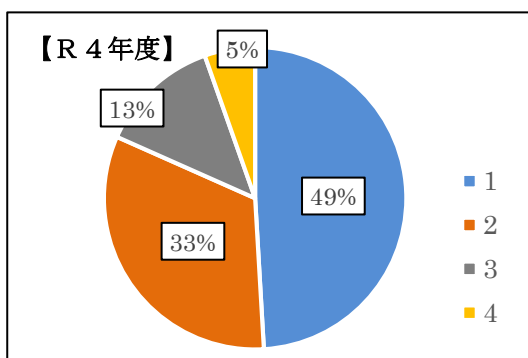
5 毎時間の到達目標であるルーブリックは、子供が主体的に学ぶことにつながっている。

(学校公開の様子やノート等から) **新規**



〈児童アンケート〉

☆ 友達との話し合いの時に自分の考えを発表している

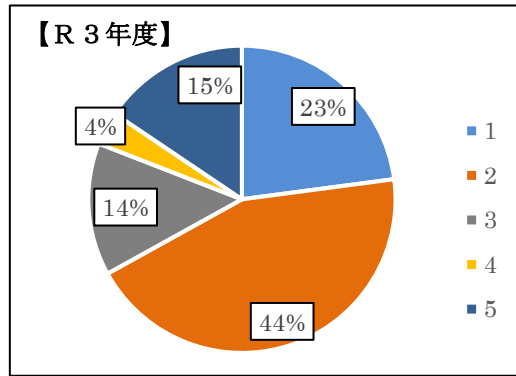
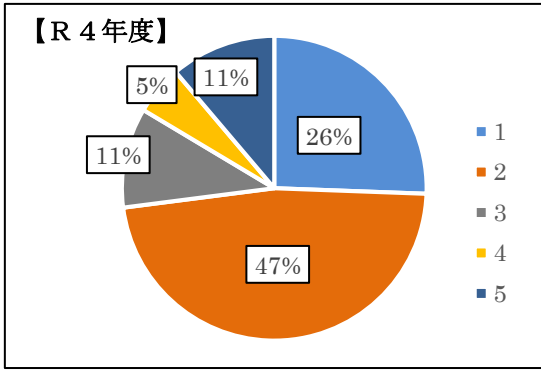


開三小は、全ての授業において①『1時間の学習のめあての設定』、『到達基準として子供の意見を生かし、子供と教師が立てるルーブリック』②『子供一人ひとりが考え、解決する活動』、③『友達と協働（協議等）する活動』、④『個々による学習の振り返りを文章で書く』、⑤『まとめ』の過程『探究開三小メソッド5』を基本として展開しています。

子供一人ひとりが思考力・判断力・表現力を身に付け、自己の学びの自覚から主体的な探究に繋げる授業をすすめていきます。特に、学習課題を早く終えた子供について、発展問題に取り組ませる等、さらに力が身に付くように指導を徹底していきます。

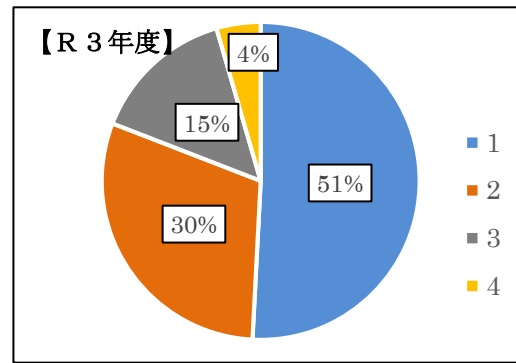
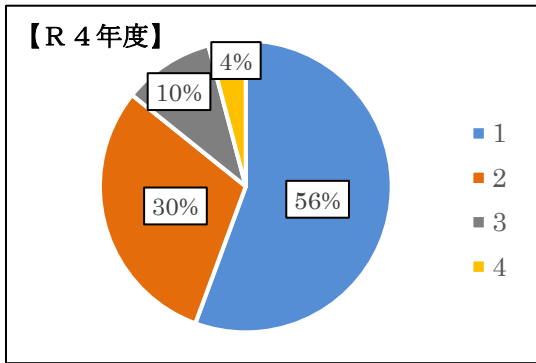
〈学校教育アンケート〉

6 子供が書いた「振り返り」から、学びの様子が伝わってくる。



〈児童アンケート〉

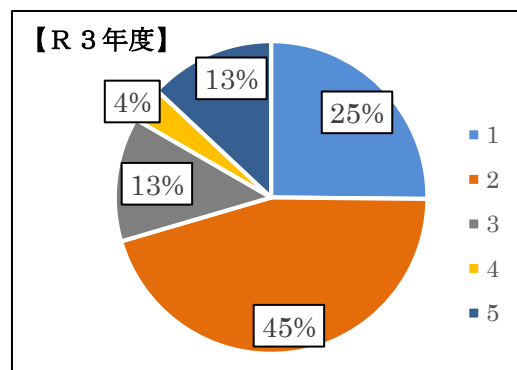
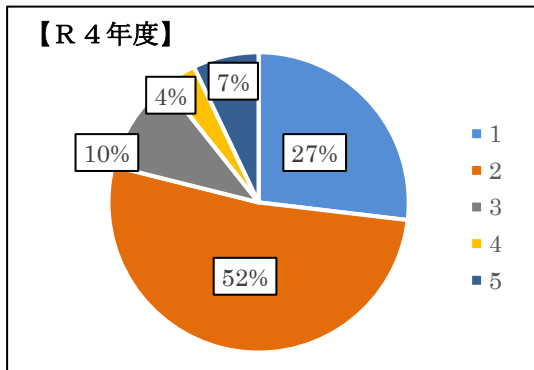
☆ 授業の「振り返りの時間」に学習して思ったことを書いている。



『子供が書いた「振り返り」から、学びの様子が伝わってくる』について「分からない。」と回答された割合が昨年度より減少しました。子供が書いた振り返りを教室環境の一部として「見える化」を図った現れです。今後も学年だより等で子供がループリックに沿った振り返りを保護者や地域の方々に伝えていきます。

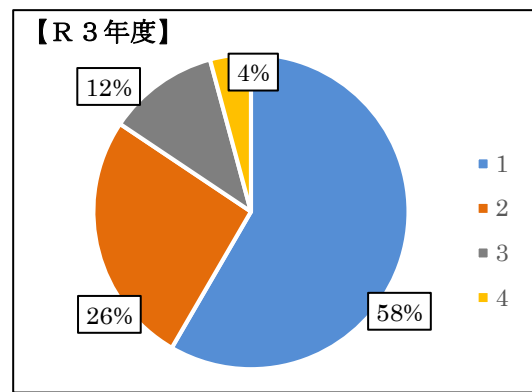
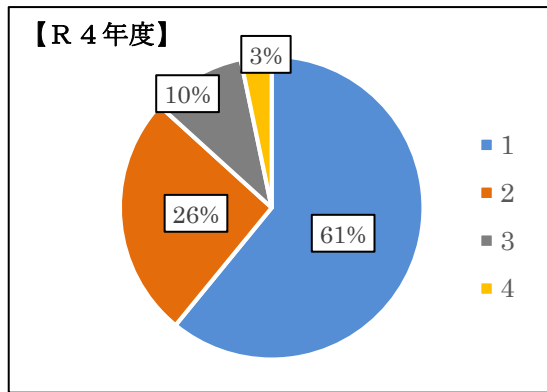
〈学校教育アンケート〉

7 子供は、生活科や総合的な学習の時間について、自ら問いをもち、解決しようとして学んでいる姿がある。

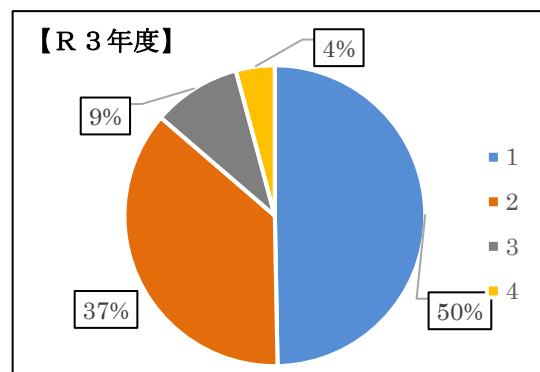
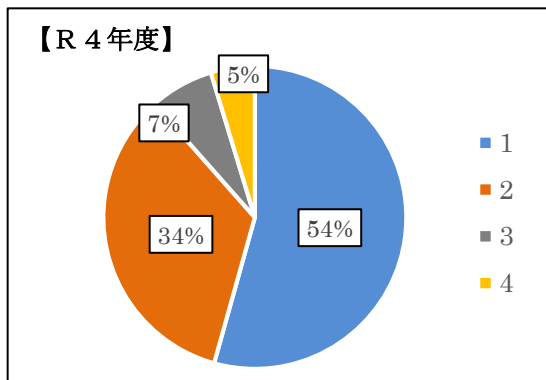


〈児童アンケート〉

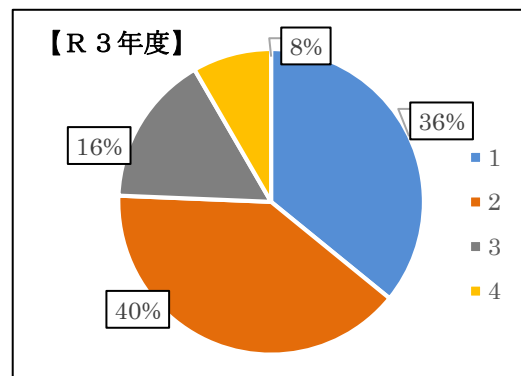
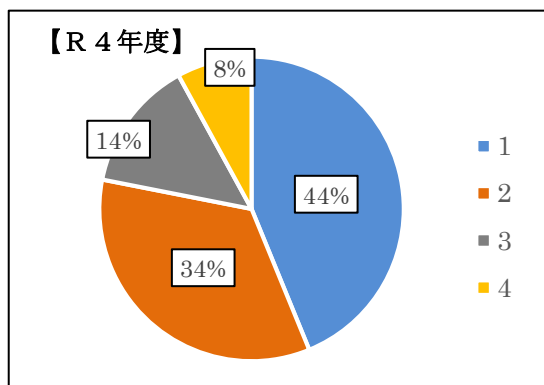
☆ 生活科や総合的な学習の時間が楽しみである。



☆ 生活科や総合的な学習の時間や他教科の学習を通して、学校のまわりや地域のことがわかった。



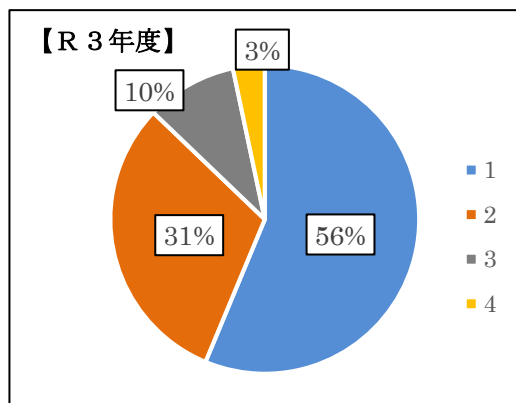
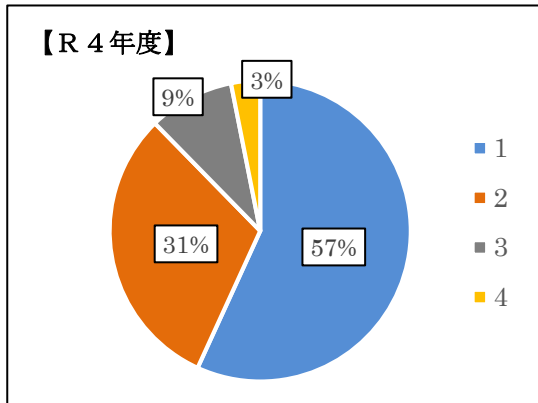
☆ 生活科や総合的な学習の時間を通して、地域のためにしてみたいことができた。



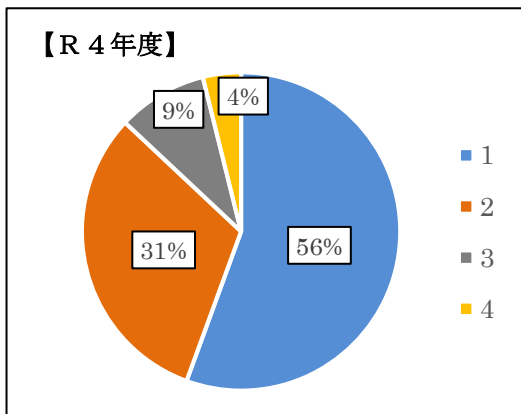
生活科・総合的な学習の時間を核として、地域を知り、愛着をもち、地域のためにできることを子供一人ひとりが考え、地域の担い手・創り手として貢献していく意欲を高めて、実践につなげていきます。今年度より発足した『地域学校協働活動推進委員会』の組織運営と協議内容を進化・発展し、家庭や地域との協働をさらに進め、社会の創り手となる子供を育てていきます。

〈児童アンケート〉

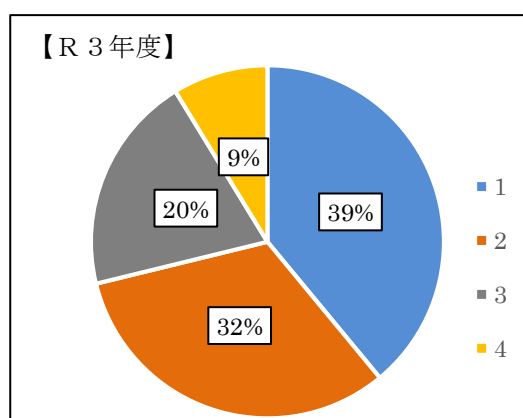
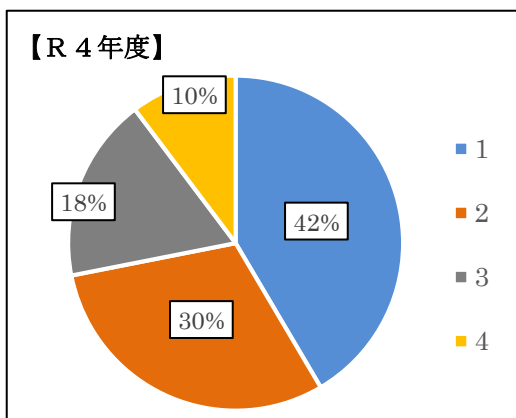
☆ 先生や主事さんにすすんであいさつをしている。



☆ 毎朝、おうちの人に自分から「おはよう。」とあいさつをしている。 **新規**



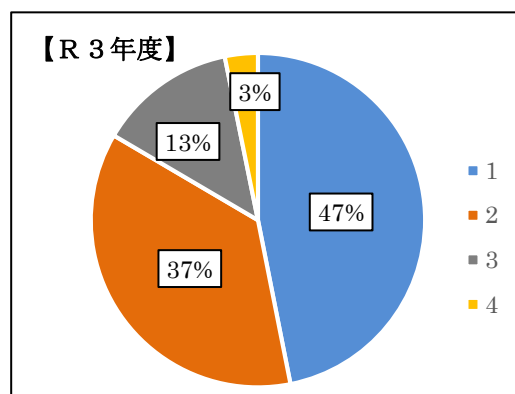
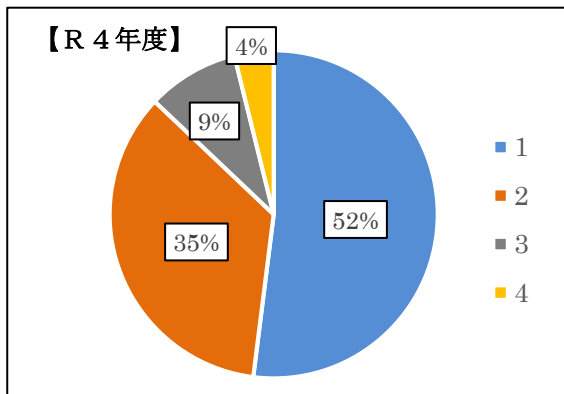
☆ 地域の人にすすんであいさつをしている。



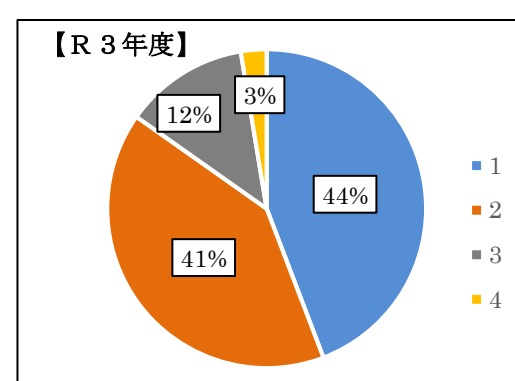
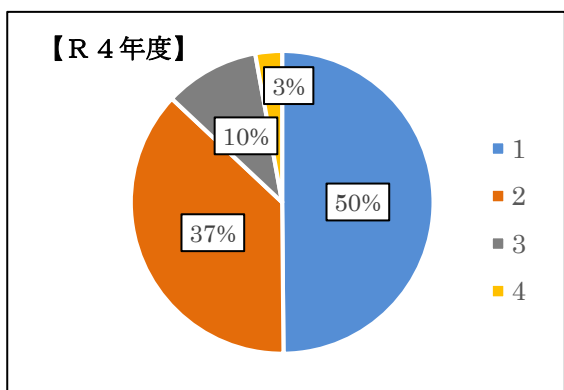
生活科や総合的な学習の時間において、地域に出掛ける際に、自分からすすんであいさつをする姿が見られるようになってきました。しかし、「地域の人にすすんであいさつをしている」と肯定的な割合は、学校と家庭に比べ低い傾向が見られます。子供たちが地域の方を知り、登下校に子供たちを見守ってくださる方々にあいさつができるように、ご家庭の協力・実践を得て、指導してまいります。

〈児童アンケート〉

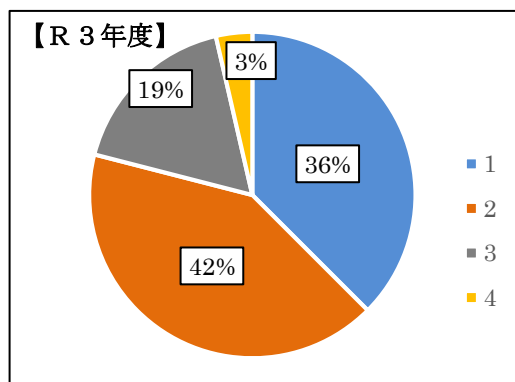
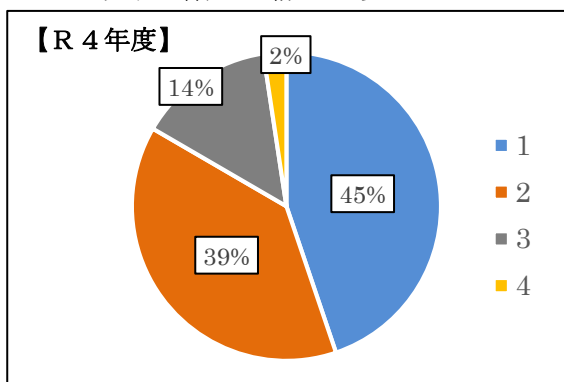
☆ 全校朝会の時に時間を守って整列をしている。



☆ 授業が始まる時にチャイム着席をしている。



☆ ろう下や階段を静かに歩いている



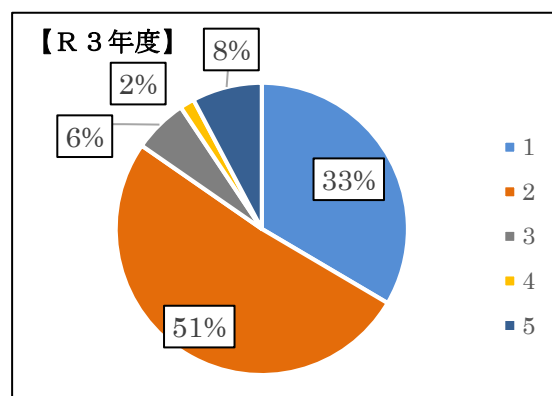
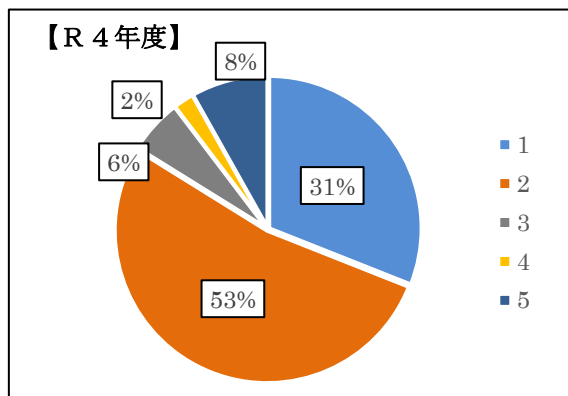
開三小は、「あいさつ」の他に「あつまり」「あるきかた」の3つの「あ」を生活指導の重点としています。「あつまり」では、チャイムと同時に授業をはじめるようにするために、5分休みは、「次の学習の準備をする時間」として、更に教員及び子供たちに徹底していきます。

「あるきかた」では、教室移動の際、話をせずに歩く子供が増えてきました。子供同士で歩くことの意義を教え合っています。引き続き、中休みや昼休みにおいて、校庭に出る際も歩いて移動することを指導続けます。

今年度より、生活目標について各学級が「ルーブリック」を設定し、実践・振り返りを行ってきました。

〈学校教育アンケート〉

8 子供の成長を実感できる教育活動が行われている。

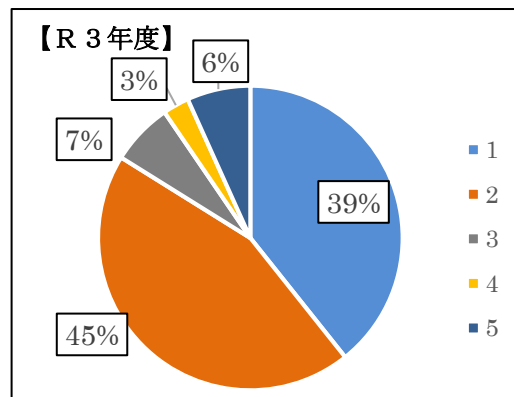
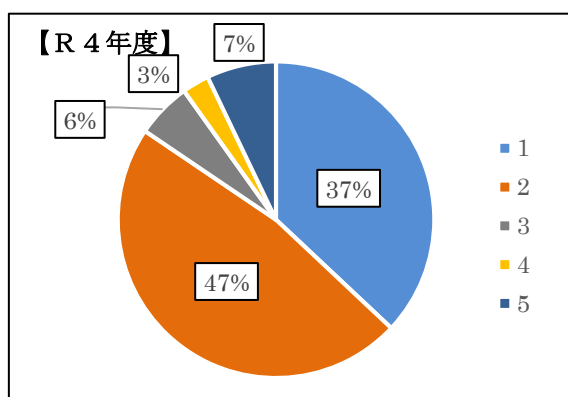


教育課程の概要である「グランドデザイン」を保護者会や地域説明会で共有を図り、学校と保護者、地域が未来を担う子供たちのために協働することをお願いしてきました。

子供一人ひとりが自分事として、運動会や音楽会等の学校行事だけではなく、毎日の学習の振り返りの文章化等において、学びの価値を見出し、新たな気づきを実感できるようにします。そして、保護者や地域の方々に成長を子供の姿を通して、実感していただきます。

〈学校教育アンケート〉

9 教師は、子供の基本的な規律の定着を目指して指導している。

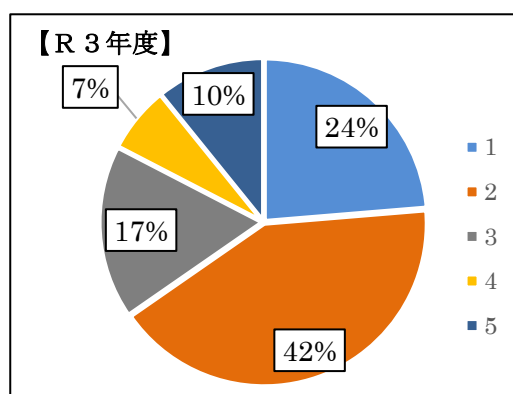
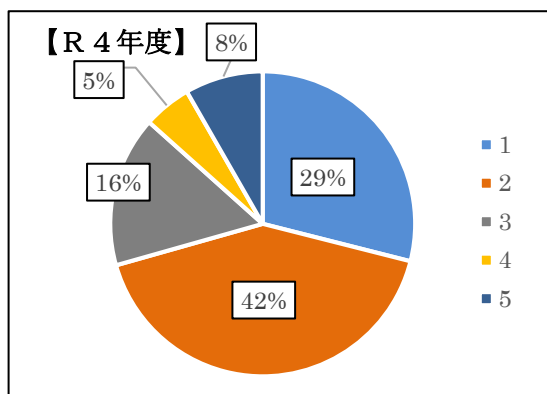


子供たちの実態から生活指導部が中心となり、3つの「あ」（あいさつ、あつまり、あるきかた）を重点に「みんなで守ろう 開三小10か条」を設定しました。

子供たちが落ち着いて学校生活を送るために、どの教員も「まとまってつづけると強い」の方針のもと、継続した指導を行っています。

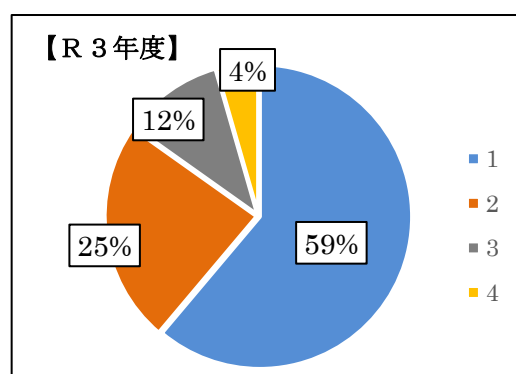
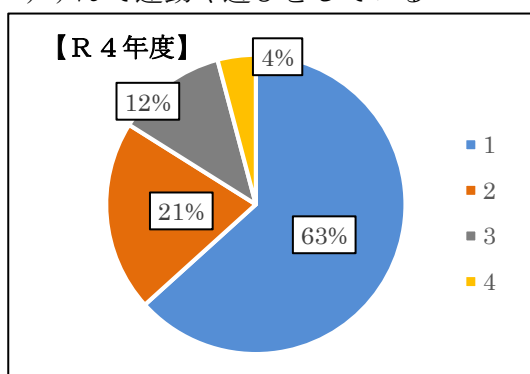
〈学校教育アンケート〉

10 子供の体力に向上・改善が見られる。



〈児童アンケート〉

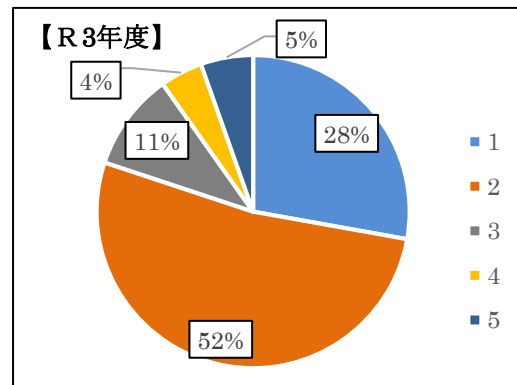
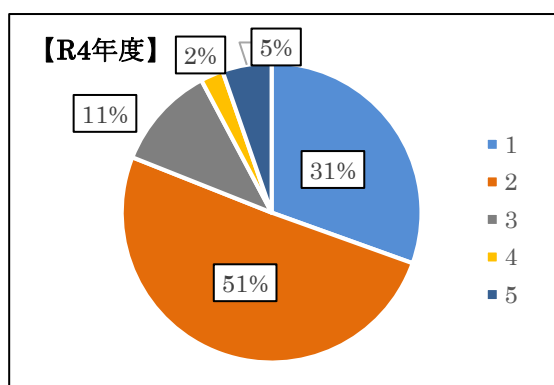
☆ すすんで運動や遊びをしている



一定の時間（3分間）に長縄を跳ぶ回数を基準として、休み時間に年3回1週間ずつ「長縄キャンペーン」を全学級で取り組み、学級が一致団結をして運動に親しむ環境設定をしてきました。そして、運動会で「長縄キャンペーン」の成果を子供の姿でお見せしました。また、休み時間や体育の時間にて、「持久力」、「投力」の向上を図るために、運動に親しむ環境を設定してき

〈学校教育アンケート〉

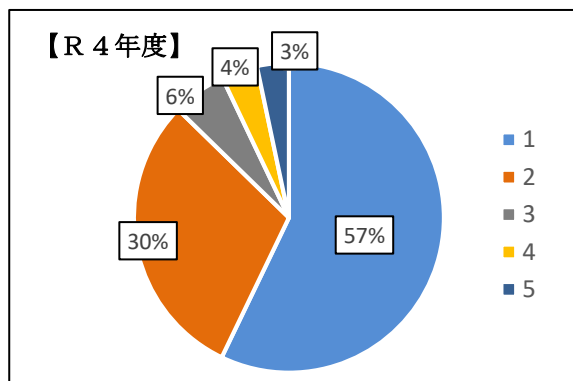
11 学校通信、保護者会、HP等で、子供の成長の様子や学習成果を伝えている。



本校の教育活動を地域や保護者の方々に分かりやすくお伝えできるよう学校ホームページの更新回数を増やしたり、地域対象の学校公開を行ったりしてきました。年2回の個人・専科面談にて、子供の学習面・生活面の成長を価値付けて伝えてきました。

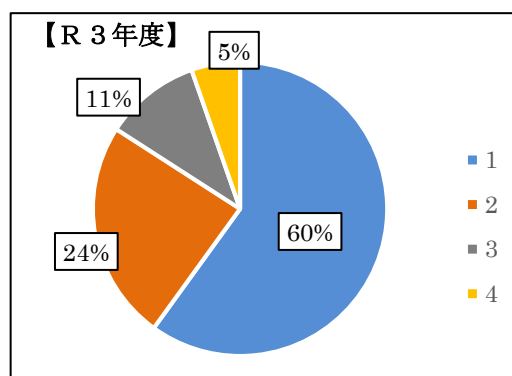
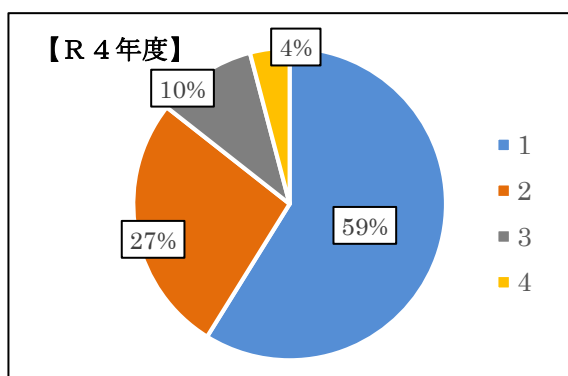
<学校教育アンケート>

12 子供は、楽しく学校に通っている。新規



<児童アンケート>

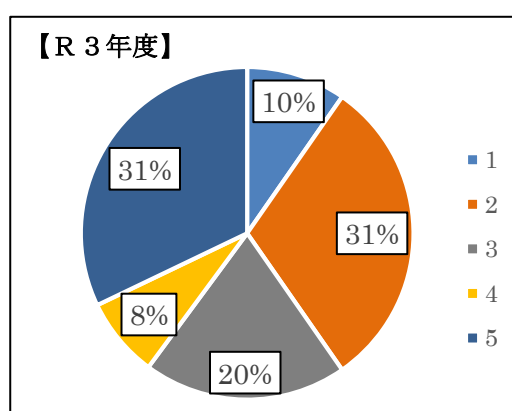
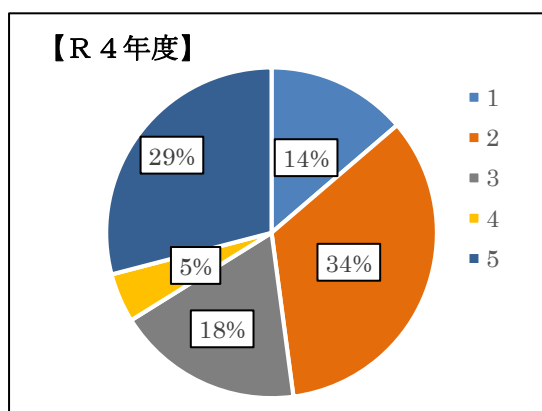
☆ 学校生活が楽しい。



子供たちが「学習内容がわかる」、「友達との関りが楽しい」と実感できる教育活動を進めています。全学年が校庭に集う一体感のある運動会を開催いたしました。また、音楽会では、密を避けるために、児童鑑賞時に2部構成として、体育館で全ての学年の音楽を鑑賞することができました。子供一人ひとりが「誇りと自信」をもって活躍する場をつくってきました。

<学校教育アンケート>

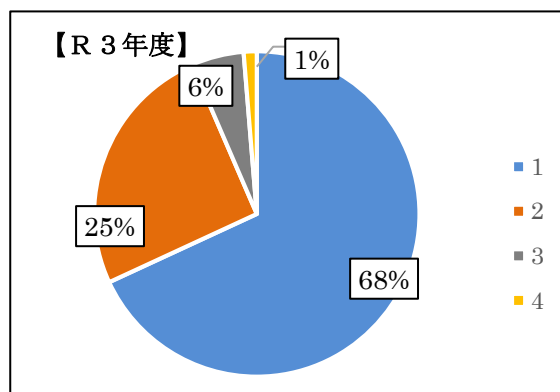
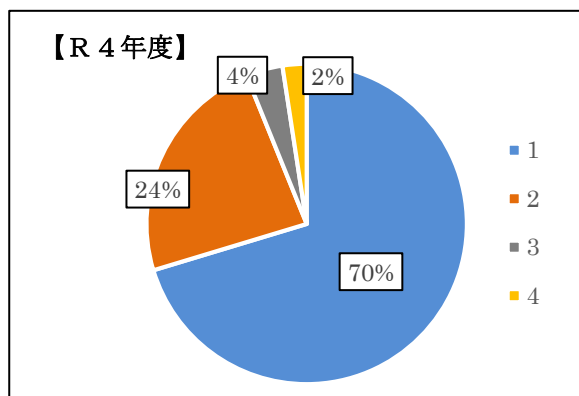
13 子供は、保健室掲示から健康への関心を高めている。



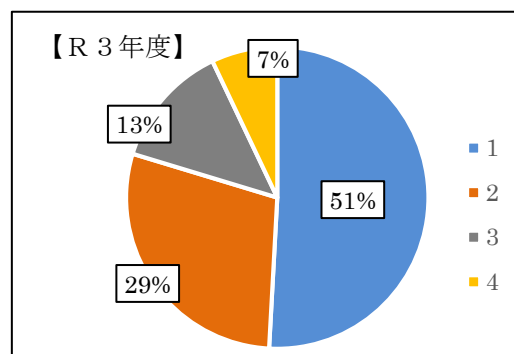
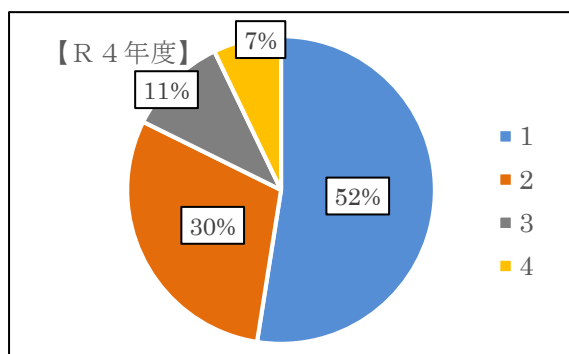
毎月の保健目標を基に、自分の生活を振り返ることができるよう掲示を工夫してきました。また、保健だよりも、子供主体の保健委員会の活動を記してきました。地域や保護者に「見える化」した教育活動を推進していきます。

<児童アンケート>

☆ 感染予防のために手を洗っている。



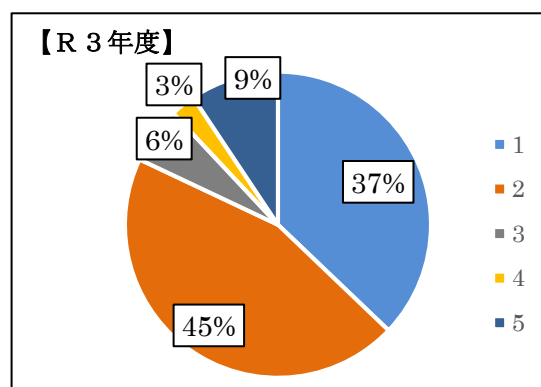
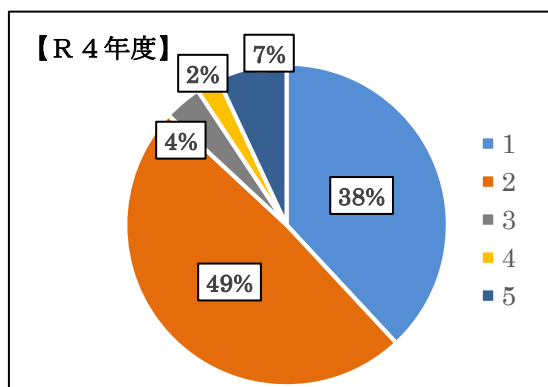
☆ 「こん立一口メモ」などから給食の食材について知ることができた。



登校後、休み時間前後、給食前後に必ず手洗いをを行うように声を掛けています。1月の各学年の保健指導では、「手洗いチェッカー」を使用し、子供一人ひとりが自身の手洗いを見直しました。給食委員会児童が昼の放送で「献立一口メモ」を読み、食育につながる活動を行っています。

<学校教育アンケート>

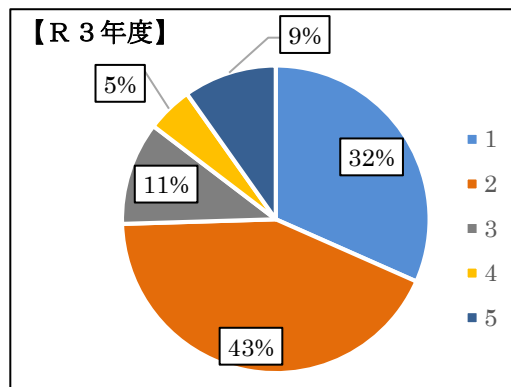
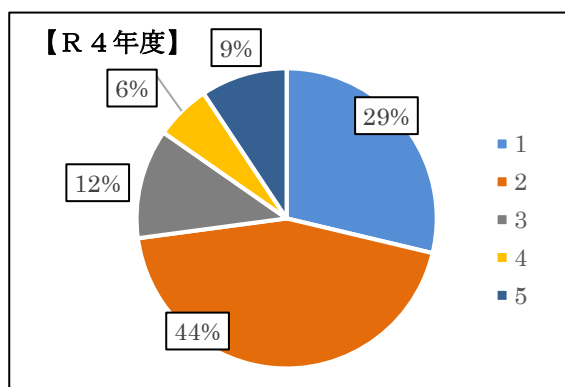
14 教室や廊下の学習環境から、子供の探究的な学びの姿が分かる。



教室の廊下には、生活科・総合的な学習の時間における「学びの足跡」を示してきました。当該学年だけではなく他学年の子供が見ることによって、下学年の子供が今後学ぶ活動への関心を高めること、さらに他学年の学びのよさを互いに認め合うこともねらいました。

〈学校教育アンケート〉

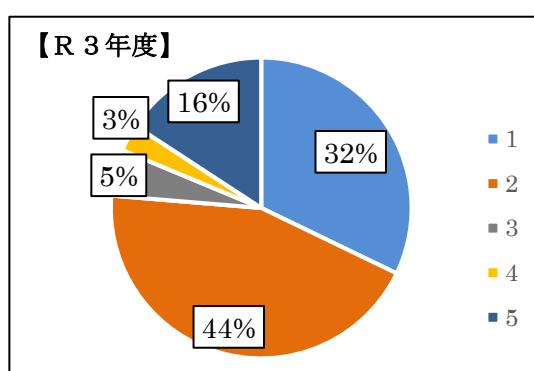
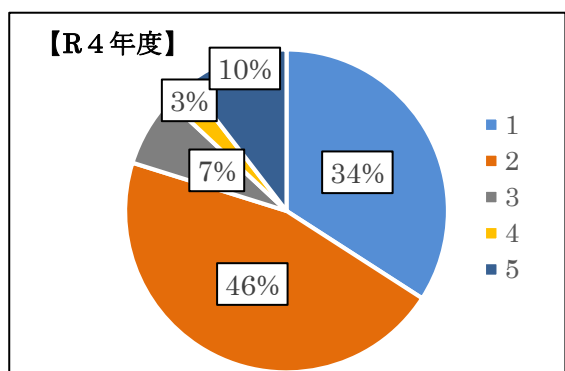
15 学校や教職員には、相談しやすい雰囲気がある。



担任だけではなく、専科教員、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員も含めて組織的に相談体制を確立していきます。今後も「子供たち一人ひとりを全員でみていくこと」を徹底していきます。

〈学校教育アンケート〉

16 地域と協働した教育活動は、子供に地域の創り手となる素地を育てることにつながっている。



近隣の施設や地域の「人、もの、こと」と関わる活動を通して、地域のよさの発見、地域への愛着の深まりにつながり、自分ができることを考え、行動しようとする姿が見られるなど、地域の創り手としての意識が高まっています。各学年の発達段階に応じて、継続的に地域に働きかけ、交流をもち、年間を通じて地域の一員として貢献する姿勢を身に付けることができるようにしていきます。